

平成 24 年 7 月 10 日

第三内科(糖尿病・代謝内科)に入院・通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に平成 7 年 1 月 1 日から平成 28 年 4 月 30 日までの間に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における腎症の病態、腎症合併患者における血圧・糖脂質代謝特性、腎症の発症・進展のメカニズム、さらには生命予後に関する観察研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院第三内科

[研究責任者] 内潟安子 第三内科学 主任教授

[研究の目的]

糖尿病患者さんにおける腎症の病態を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科に入院・通院中の患者さん（または過去に入院・通院されたことのある患者さん）

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、尿

カルテ情報：年齢、性別、身体所見、疾患情報、検査結果(血液、尿、画像所見、生理学検査、病理学検査、手術記録、質問紙調査)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科 担当医師 花井 豪

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 2 月 20 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 リンパ増殖性腫瘍におけるMYD88遺伝子の解析

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 血液内科 教授 田中淳司

〔研究の目的〕 マクログロブリン血症、悪性リンパ腫、白血病、骨髄腫における MYD88 遺伝子などの変異と病気の関係性を解明するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

マクログロブリン血症、悪性リンパ腫、白血病、骨髄腫の患者さんで、平成 12 年 7 月 4 日から平成 28 年 2 月 29 日の間に遺伝子、蛋白の研究用の検体の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、リンパ節、骨髄（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：

- 1 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、治療効果、状態
- 2 血液検査結果：血算、肝機能、腎機能、CRP、蛋白
- 3 CT、エコー、リンパ節病理、骨髄像、染色体、キメラ遺伝子、表面マーカー

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 森 直樹

電話 03-3353-8111 (39961) FAX 03-5269-7329



患者さん及び保護者の方へ

臨床研究

千葉県小児救命集中治療ネットワーク事業における小児重症疾患登録

情報公開用文書

研究責任者：東京女子医科大学 八千代医療センター小児科教授
高梨潤一

この文書は臨床研究「千葉県小児救命集中治療ネットワーク事業における小児重症疾患登録」に関する説明を患者さん及びその家族の方を対象に作成したものです。

1. 研究の背景

千葉県では健康福祉部医療整備課を事務局として小児科における医療資源の集約化・重点化の推進について検討し、小児科に係わる医師確保対策に資することを目的とした事業を平成 18 年度から行っています（平成 18 年度「小児科における医療資源の集約化・重点化を検討するワーキンググループ」、平成 20 年度「小児科に係わる医師確保対策検討部会」、平成 21 年度「千葉小児救命集中治療ネットワーク準備会議」）。事業の一環として小児重篤患者を適切な医療機関で受け入れる県内の病院ネットワークの設立を行うことになりました。「千葉県小児救命集中治療ネットワーク」は県内 12 病院の重篤小児の応需情報（「小児救命集中治療に係る応需情報」）をちば救急ネット WEB に公開し、消防機関ならびに県内の小児科標榜の病院が閲覧して転院先の情報として利用できるシステムとして、平成 24 年 3 月 1 日より運用開始となりました。

2. 研究の目的

上記「小児救命集中治療に係る応需情報」とは別に、千葉県内でどのような疾患の重篤小児患者が、どのくらい発生しているか等の基礎的なデータを蓄積し、連携病院において情報共有することにより、重篤小児患者の治療に活かしてゆくことを目的として、「小児重症登録」機能を加えることとしました。

3. 対象患者および適格性の基準

(1) 対象患者のうち、(2) 選択基準を満たし、かつ (3) 除外基準に該当しない方を対象とします。

(1) 対象患者

16歳未満で、当院の小児集中治療室に入院する患児を対象とする。

(2) 選択基準

当院の小児集中治療室に入室する全患者が対象となる。

(3) 除外基準

予定手術入院患者の術後は除く。

4. 研究の方法

(1) 研究の種類・デザイン

前向き観察研究

(2) 観察および検査項目とその実施方法

データの入力・閲覧が可能なのは連携 12 病院および千葉県のみであります。

不正アクセス防止対策、ウイルス対策、アクセスログの確認対策、サーバ設置場所のセキュリティ対策を行い、個人情報の漏洩がないよう最大限の配慮をしています。

登録項目は

1. 病院コード
 2. 疾患名 (ICD10)
 3. 年齢 (月齢)
 4. 性別
 5. 発症場所 (県内・県外)
 6. PIM2 (小児の死亡率予測のためのスコア)
 7. ICU入室年・月
 8. 入院理由 (呼吸不全、循環不全、意識障害、急性腎不全、重症外傷、重症熱傷、その他)
 9. 補助医療機械 (呼吸器、NO、ECMO、PCPS、ICPモニター、CHDF、PD、その他)
 - 10 緊急手術の有無
 - 11 ICU滞在日数
 - 12 ICU退室時の予後
 - 13 ICU満床の場合の一般病床利用の有無
- 県外転院例は、各施設が記録していたデータを集計時に別途登録します。

(3) 被験者の研究参加予定期間

集中治療室入室期間を観察期間とします。

(4) 研究終了後の対応

本研究終了後は、この研究で得られた成果を連携12病院において情報共有することにより、小児患者の治療に活かしてゆきます。

5. 予想される利益および不利益

(1) 予想される利益

本研究は日常診療による観察研究であり、患者さんに直接の利益は生じません。

千葉県内でどのような疾患の重篤小児患者が、どのくらい発生しているか把握し、小児拠点病院の集約化の際の重要なデータを提供します。また、日本小児科学会小児医療委員会では、同様の目的で重篤小児調査を全国レベルで行う方針で今年度から重篤小児ワーキンググループを立ち上げています。本研究はワーキンググループの登録システム構築の際、参考となるデータを提供します。

(2) 予想される不利益

本研究は日常診療による観察研究であり、検査項目や頻度も日常診療と同等であることから、本研究に参加することによる不利益は生じないと考えられます。

6. 評価項目 (エンドポイント)

4 (2) 研究の方法で記述した項目をWEB登録します。

7. 研究実施期間

平成25年1月10日 (倫理委員会承認後) ~平成35年3月31日

8. 被験者の人権に対する配慮および個人情報の保護の方法

本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言 (2008年10月修正)」および「臨床研究

に関する倫理指針（平成20年7月31日改正、以下臨床研究倫理指針）」を遵守して実施します。

研究実施に係る被験者の個人情報にはコンピュータシステムのセキュリティを常時管理し、被験者の秘密保護に十分配慮します。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含めないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者の情報を使用しません。

9. 情報公開

本公開文書をもって、倫理委員会で承認の得られた本研究計画書を東京女子医科大学ホームページに掲載することにより、情報公開を行うこととします。

10. 記録の保存と研究結果の公表

研究責任者は、研究等の実施に係わる重要な文書（申請書類の控え、学長及び病院長からの通知文書、各種申請書・報告書の控え、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録等）を、研究の中止または終了後5年が経過した日までの間保存し、その後は個人情報に注意して廃棄します。

研究担当者は、本研究の成果を関連学会等において発表することにより公表します。

11. 研究資金および利益相反

本研究は、千葉県の事業として実施します。また、本研究の研究担当者は、「利益相反マネジメント規程」の規定に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査と承認を得るものとします。

12. 研究実施体制

本研究は以下の体制で実施します。

【研究責任者】

千葉県小児救命集中治療ネットワーク検討会議(千葉県健康福祉部)

【研究事務局】

千葉県健康福祉部医療整備課 千葉市中央区市場町 1 - 1

【参加施設】

千葉県こども病院, 千葉大学医学部附属病院, 順天堂大学浦安病院, 東京女子医科大学八千代医療センター, 国保松戸市立病院, 千葉県救急医療センター, 船橋市立医療センター, 成田赤十字病院, 日本医科大学千葉北総病院, 国保旭中央病院, 亀田総合病院, 国保君津中央病院

【東京女子医科大学における実施体制】

研究分担者氏名・職名

濱田 洋通・東京女子医科大学八千代医療センター小児科准教授
安川 久美・東京女子医科大学八千代医療センター小児集中治療科講師
本田 隆文・東京女子医科大学八千代医療センター小児集中治療科准講師
平井 希・東京女子医科大学八千代医療センター小児集中治療科助教

〈連絡先〉 047-450-6000(代表)

東京女子医科大学八千代医療センター小児科准教授 濱田洋通

平成 28 年 5 月 9 日

血液浄化療法科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] クリアランスギャップ（CL-Gap）が与える生命予後への影響の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院血液浄化療法科

[研究責任者] 土谷 健 東京女子医科大学 血液浄化療法科 教授

[研究の目的] CL-Gap（透析効率の指標）を使って、透析患者さんの寿命の評価が可能かどうかを調べる為。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院外来の透析患者さんで、平成 24 年 4 月から平成 27 年 4 月の間に当院にて透析治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①2015 年 4 月時点での生存情報

②2012 年 4 月から 2015 年 4 月時点までのシャント治療歴

③2012 年 4 月から 2015 年 4 月時点までの入院歴

④年齢、性別、身長などの患者さんの基本情報

⑤血流量、使用透析液、使用ダイアライザなどの透析治療の条件

⑥BUN、クレアチニン、Hct、Hb などの検査データ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液浄化療法科 担当医師 土谷 健

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7368

平成 28 年 4 月 28 日

神経精神科・心身医療科に通院中の（もしくは過去に通院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 小児腎臓移植レシピエントの精神発達と移植腎の正着

【研究機関】 東京女子医科大学病院神経精神科・心身医療科

【研究責任者】 神経精神科 教授 西村勝治

【研究の目的】

小児期に腎臓移植を受けた方の精神発達やメンタルヘルスと適応との関連を調べ、移植後のより良い生活をサポートする方法を検討する

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2006 年 1 月 1 日から 2016 年 1 月 31 日までの間に東京女子医科大学心身医療科小児移植外来に通院し、腎臓移植を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、検査結果（血液検査、病理学検査、心理検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経精神科 担当者 井上敦子

電話 03-3353-8111 (代) FAX 03-3351-8979

平成 28 年 5 月 16 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脳血管障害に関する各種因子と予後に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院脳神経外科

[研究責任者] 川俣貴一 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任

[研究の目的] 脳血管障害に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、平成 12 年 4 月 1 日から平成 28 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 川俣貴一、山口浩司、石川達也

電話 03-3353-8111(26216) FAX 03-5269-7438

平成 28 年 5 月 16 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 脳腫瘍に関する各種因子と予後に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院脳神経外科

〔研究責任者〕 川俣貴一 東京女子医科大学 脳神経外科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 脳腫瘍に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、平成 12 年 4 月 1 日から平成 28 年 7 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 川俣貴一、山口浩司、石川達也

電話 03-3353-8111(26216) FAX 03-5269-7438

平成 28 年 4 月 1 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における末梢動脈疾患の診断に対する Toe-brachial index (TBI) の有用性の検討：Ankle-brachial index (ABI) との比較

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第三内科学 教授 内潟 安子

[研究の目的] 糖尿病患者において、下肢 MR Angiography (MRA) を用いて評価した末梢動脈疾患に対する Toe-brachial index : TBI および Ankle-brachial index : ABI の有用性を比較する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

糖尿病患者さんで、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に TBI、ABI 検査を受け、さらに下肢 MRA 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、生理学検査、手術記録)、糖尿病、末梢動脈疾患、下肢切断などの治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科

担当医師 井倉 和紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 3 月 30 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Fontan Circulation over 30 Years

(30 年以上経過したフォンタン手術—彼らから何を学ぶか?—)

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

30 年以上経過したフォンタン手術患者の経過と現在の状態を調査し、長期間にわたるフォンタン循環の病態を明らかにする

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1974 年から 1986 年の間にフォンタン手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神発達検査、心臓カテーテル検査）、再手術状況、現在の内服治療状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本貴彦

電話 03-3353-8111・FAX 03-3356-0441

平成 28 年 5 月 17 日

皮膚科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療に際し採取・保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 皮膚筋炎の皮疹における病理学的探索

[研究機関] 東京女子医科大学病院皮膚科

[研究責任者] 川島 眞 東京女子医科大学 教室名（皮膚科）教授

[研究の目的]

皮膚筋炎における筋炎特異自己抗体で分けられるいくつかのグループ別の皮膚症状及び病理組織所見の特徴を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

皮膚筋炎の患者さんで、平成 15 (2003) 年 1 月 1 日から平成 32 (2020) 年 12 月 31 日の間に診断のために皮膚生検で病理組織学的検査を施行することに同意された方、また、特異自己抗体を検討するための血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液、病理組織標本（採取・保管に同意いただいた分）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図、筋電図、肺機能）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院皮膚科医局

担当医師 石黒直子、葉山愛弥、鈴木瑞穂

電話 03-3353-8111（代）

FAX 03-5269-4769

東京女子医大東医療センター日暮里クリニック女性専門外来
に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 女性専門外来受診者の主訴、臨床的特徴、最終診断、有効な治療法についての後ろ向き解析

〔研究機関〕 東京女子医大東医療センター性差医療部

〔研究責任者〕 性差医療部准教授 片井 みゆき

〔研究の目的〕

女性専門外来でのデータや経験を解析し、女性診療の向上と発展に役立てるため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2007 年 9 月～2016 年 2 月に女性専門外来を受診された女性患者さん

●利用するカルテ情報

個人情報が入らないように匿名化した上で、全体のデータ解析のため、以下の情報を集計に用いさせていただきます。

年齢、身長、体重から計算した Body Mass Index (BMI)、初診時間診票、血圧、脈拍
病歴、身体所見、治療内容、検査結果、画像診断結果、使用薬剤、喫煙歴、受動喫煙歴、
医師が聴取した既往歴・家族歴、他院・他科受診歴の有無、更年期指数 (SMI)、診断名、転帰

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西日暮里 2-20-1 ステーションポートタワー4F

東京女子医科大学東医療センター日暮里クリニック 担当医師：片井みゆき

電話：03-3805-7771

FAX：03-3805-7775

平成 28 年 4 月 4 日

東医療センター内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 高齢内科患者における認知機能と脳白質病変の関連

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター内科

〔研究責任者〕 東医療センター内科 教授 佐倉 宏

〔研究の目的〕

内科疾患を有する高齢患者に対し認知機能検査を行い、血管障害の危険因子である高血圧、糖尿病、脂質異常症と、脳卒中、冠動脈疾患、慢性腎臓病について脳 MRI 上の白質病変との関連について検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学東医療センター内科に、2012 年 1 月から 2014 年 12 月までの間に入院をされた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、脳 MRI 画像検査）、認知機能検査（Mini-Mental State Examination: MMSE）、高齢者うつ評価スケール（Geriatric Depression Scale: GDS）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター内科 担当医師 柴田興一

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6258

平成 28 年 2 月 23 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対する初回治療としてのチロシンキナーゼ阻害剤開始後において、最大腫瘍縮小時期は予後予測因子として有用か。

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対する初回治療としてチロシンキナーゼ阻害剤治療は標準的な治療法である。治療開始後の予後予測因子として、治療前に比較し腫瘍がどれだけ縮小したかをみる『最大腫瘍縮小率』や、治療開始後早期にどれだけ腫瘍が縮小したかをみる『早期腫瘍縮小率』などが有用であるとの報告がある。しかし、最大腫瘍縮小を認めた時期が、予後予測因子として有用であるかは定かではない。そのため、今回我々は、転移性腎癌に対する初回治療としてチロシンキナーゼ阻害剤治療開始後の、最大腫瘍縮小時期が予後予測因子として有用であるかどうかを調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2008 年 1 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の間に初回治療としてチロシンキナーゼ阻害剤治療をうけた方

●利用するカルテ情報

初回チロシンキナーゼ阻害剤治療時の年齢、性別、腎癌の組織型、MSKCC risk(転移性腎癌の予後予測に用いられる)、腎摘手術の有無、転移臓器の数、転移巣の径、治療開始後の全生存期間(治療開始後から死亡するまでの期間)、無増悪期間(治療開始後から腫瘍増悪までの期間)、治療開始後の最大腫瘍縮小時期、最大腫瘍縮小率など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

平成 28 年 3 月 7 日

東京女子医科大学東医療センター日暮里クリニック女性専門外来に通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 高LDL血症患者の頸動脈エコー所見の解析

[研究機関] 東京女子医科大学東医療センター性差医療部

[研究責任者] 性差医療部准教授 片井みゆき

[研究の目的]

女性の高LDL血症患者の治療目標を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

女性専門外来を受診した高LDL血症の患者さんで、平成 24 年 4 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日の間に頸動脈エコー検査を受けた方

●利用するカルテ情報

個人情報がもれないように匿名化したうえで全体のデータ解析のため、以下の情報を収集し用いさせていただきます。

診断名、年齢、性別、身長、体重から計算した Body Mass Index (BMI)、血圧、脈拍、既往歴、家族歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、頸動脈エコー検査）、治療内容、使用薬剤、喫煙歴、受動喫煙歴、他院、他科受信歴の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西日暮里 2-20-1 ステーションポートタワー4 階

東京女子医科大学東医療センター日暮里クリニック
電話 03-3805-7771 FAX 03-3805-7775

担当医師 近藤奈々絵

H38(12/31)

平成 28 年 3 月 18 日

神経内科に入院されたことのあるの
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療録に保管された情報を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 アルガトロバンまたはヘパリンで加療中の非心原性脳梗塞急性期の症状増悪に關与する因子の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院神経内科【研究責任者】 東京女子医科大学神経内科教授・講座主任 北川一夫

【研究の目的】

アルガトロバンまたはヘパリンで治療を開始した急性期虚血性脳卒中患者を対象として 脳梗塞病型 重症度 予後 投与薬剤 血液検査所見 脳 MRI 画像所見などを検索し、症状増悪例での臨床的特徴を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 15 年 4 月から平成 28 年 1 月の間に 急性虚血性脳卒中（脳梗塞 および 一過性脳虚血発作）で当科へ入院された患者さん

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、合併症（高血圧、脂質異常症、糖尿病 喫煙歴 飲酒歴）、身体所見（身長 体重 血圧 脈拍）検査結果（12 誘導心電図 ホルター心電図 胸部 X 線 脳 CT 検査 脳 MRI 検査 頸動脈超音波検査 心臓超音波検査）血液・尿検査、脳卒中発症前の内服薬剤 脳卒中発症後の治療内容、脳卒中発症後 3 か月後の脳心血管イベント発症の有無 日常生活自立度

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 白井 優香

電話 03-3353-8111・（内線 39232）・・・ FAX 03-5269-7324・・・

平成 28 年 4 月 5 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎癌における術前末梢血リンパ球分画・数と予後との関連についての研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 田邊 一成、泌尿器科、教授

【研究の目的】

腎癌患者さんの術前の血液検査の結果（特に末梢血白血球分画）と術後経過（転移や再発など）との関連を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

腎癌（または腎癌の疑い）の患者さんで、平成 21 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日の間に東京女子大病院で腎臓の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、白血球分画、リンパ球サブセット、画像検査、病理検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院輸血・細胞プロセッシング科、泌尿器科（兼任）

担当医師 小林 博人

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7685

平成 28 年 3 月 8 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 生体腎移植後ドナーの長期予後に関する臨床的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院泌尿器科

[研究責任者] 泌尿器科学 主任教授 田邊一成

[研究の目的] 生体腎移植後ドナーの手術の安全性と長期予後を検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

生体腎移植後ドナーの患者さんで、1991 年 1 月 1 日から 2015 年 1 月 1 日の間に当科で腎移植の手術を行われた方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、身体所見、手術後合併症、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 長谷川 純平

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 3 月 14 日

神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 千葉県共用脳卒中地域医療連携パス薬剤シートの有用性の検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属八千代医療センター 神経内科、薬剤部

[研究責任者] 大橋 高志（神経内科 診療科長）

[研究の目的]

「千葉県共用脳卒中地域医療連携パス」によって当院から患者さんの転院先へ送られる、薬剤情報提供のためのシート（薬剤シート）に患者さんの常用薬の情報を記載することが有用であるかどうかを、患者さんの入院前の常用薬・転院時の使用薬剤・転院先での使用薬剤の変化を調べることにより検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2012 年 7 月から 2015 年 9 月までの間に、当院において千葉県共用脳卒中地域医療連携パスの適応があり、当院より転院先へ薬剤シートを発行した方

●利用するカルテ情報

- ①当院入院時の持参薬（常用薬）内容 ②当院退院時の処方内容
③転院先における退院時の処方内容 ④年齢 ⑤性別

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477 番地 96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 薬剤部

電話 047-450-6000

平成 28 年 4 月 12 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「慢性関節リウマチ合併気胸に対する手術症例の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第一外科

〔研究責任者〕 神崎正人 東京女子医科大学 第一外科学 （准教授）

〔研究の目的〕

慢性関節リウマチ合併気胸に対して、手術を施行した例について、治療方法の有効性の検討

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 24 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に慢性関節リウマチを合併され他患者さんで、気胸を発症し、外科的治療を施行した患者さん

●利用するカルテ情報

①性別、年齢、身体所見

②術前治療歴

③画像所見(CT XP)

④既往歴、内服歴

⑤術前の Performance Status

⑥手術日（西暦 年 月 日）： 例 2001/1/15

⑧手術内容（手術方法、出血、手術時間）

⑨血漿分画製剤の使用の有無

⑩輸血の有無

⑪術前と術後のドレーン留置期間

⑫入院期間

⑬術後合併症

⑭術後合併症の内容

⑮血液検査所見 WBC Hb HT PLT AST ALT LDH Cr BUN CRP KL6 SPD SPA RA 因子

⑯術後経過（治療内容）

⑰最終病理組織診断

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 井坂珠子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 28 年 4 月 12 日

画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の

患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 MDCTを用いた大動脈解離の経時的な形態変化の探索

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科、心臓血管外科、循環器内科

〔研究責任者〕 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 大動脈解離の CT 所見の経時的変化を探索し、画像所見から大動脈解離の新旧の判断が可能かを明らかにすること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2004 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までの間に大動脈解離を発症し、造影 CT が撮影されている方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（CT 所見等）、臨床経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 28 年 4 月 12 日改定

画像診断・核医学科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 血管造影装置を用いた画像下治療（IVR）の被曝量に関与する因子の探索

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

〔研究責任者〕 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任

〔研究の目的〕 血管造影装置を用いた画像下治療（検査のみも含む）が施行された方の手技や撮影方法等の相違による被曝量に関与する因子について探索する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 22 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に血管造影装置を用いた画像下治療（検査のみも含む）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、画像下治療の手法や被曝量）、臨床経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科

担当医師 森田 賢

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-9247

平成 28 年 3 月 7 日

総合診療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 EBM に基づいた臨床推論支援ツールの開発

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院総合診療科，救命・救急医療科，衛生学公衆衛生第二

〔研究責任者〕 東京女子医科大学衛生学公衆衛生第二・教授・山口直人

〔研究の目的〕

東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二との共同研究で、医学生、研修医の医学教育に役立つ臨床推論を支援するツールを開発すること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

感染症等の急性疾患の患者さんで、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に受診した方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、紹介状の有無、居住地郵便番号、来院手段（独歩、介助、救急車）、主訴、診断名（初診時、最終）、検査内容、治療内容、身体所見、血液検査、レントゲン検査、心電図、転帰（軽快（完了）、外来（担当科）、入院（転科先名）など）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院総合診療科 担当医師 川名正敏

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7556

平成 28 年 3 月 7 日

救命・救急診療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] EBM に基づいた臨床推論支援ツールの開発

[研究機関] 東京女子医科大学病院救命・救急医療科、総合診療科、衛生学公衆衛生第二

[研究責任者] 東京女子医科大学衛生学公衆衛生第二・教授・山口直人

[研究の目的]

東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二との共同研究で、医学生、研修医の医学教育に役立つ臨床推論を支援するツールを開発すること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

感染症等の急性疾患の患者さんで、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に受診した方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、紹介状の有無、居住地郵便番号、来院手段（独歩、介助、救急車）、主訴、診断名（初診時、最終）、検査内容、治療内容、身体所見、血液検査、レントゲン検査、心電図、転帰（軽快、外来（担当科）、入院（転科先名）など）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院救命・救急診療科

担当医師 矢口有乃

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7556

平成 28 年 4 月 11 日

女性専門外来に通院中（または過去に通院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「首都圏の更年期周辺世代の脂質異常症女性における
エイコサペンタエン酸/アラキドン酸（EPA/AA比）の検討」

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター 性差医療部

〔研究責任者〕 片井みゆき 性差医療部 准教授

〔研究の目的〕

不飽和脂肪酸（エイコサペンタエン酸やアラキドン酸など）と、年齢・コレステロールや中性脂肪・糖代謝・頸動脈の動脈硬化の状況・血圧・生活習慣などとの関係を調査して、現代の首都圏女性の動脈硬化リスクを検討するため。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

高脂血症の患者さんで平成 22 年 1 月から平成 28 年 2 月の間に全脂質中脂肪酸分画の検査を受けた 40 歳～69 歳の方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、身長、体重、血圧、閉経年齢、嗜好品、合併症、治療内容、既往歴、家族歴、生活歴、血液検査、検尿検査、頸動脈エコー、腹部エコー（検査は施行者のみ）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西日暮里 2-20-1 ステーションポートタワー4 階
東京女子医科大学東医療センター日暮里クリニック
性差医療部 担当医師 佐藤眞理子
電話 03-3805-7771 FAX 03-3805-7775

平成 28 年 4 月 14 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 東京女子医科大学病院で治療を行った口腔癌患者に関する後方視的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

[研究責任者] 安藤智博 歯科口腔外科 教授

[研究の目的]

口腔癌治療の治療効果を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

口腔癌の患者さんで、平成 16 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に口腔癌の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（病理検査、画像検査、血液検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 島崎 士

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録と病理標本を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 胆管内乳頭状腫瘍の臨床病理学的所見と切除成績の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕 胆管内乳頭状腫瘍の臨床病理学的所見と治療成績を明らかにする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1968 年から 2016 年 3 月までに胆道腫瘍にて東京女子医科大学 消化器外科にて手術を受けられた患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、症状、黄疸、術前血液、生化学、腫瘍マーカー、発見原因、部位（肝内/肝外）、臨床的粘液産生、術前画像、リンパ節転移、表現型（gastric/intestinal/oncocystic/pancreatobiliary）、予後、再発様式、Bismuth 分類、胆道ドレナージ、生存期間、術式、出血量、手術時間、合併症発生率、在院死亡率、腫瘍径、組織型、リンパ管侵襲、静脈侵襲、神経周囲浸潤、周囲進展度、リンパ節転移部位、免疫染色、遠隔転移、癌遺残度（浸潤癌、上皮内癌）、肝側胆管断端、十二指腸側胆管断端、剥離面、肝転移、腹膜播種、補助療法、再発に対する治療、UICC 分類、癌取扱い規約 病理所見

●利用する病理標本

プレパラートが破棄されてしまっている（あるいは一部の染色が行われていない）場合には保存されているパラフィンブロックから新たにプレパラートを作成し、ヘマトキシリン（HE）染色と免疫組織化学染色を行います

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報と病理標本を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 (内線 25116) FAX 03-5269-7507

平成 28 年 4 月 10 日

神経精神科に所属している医療スタッフの皆様へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、職員へのアンケートで得られた情報をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 患者からの暴力に対する看護師と他職種の認識と対応
ー包括的暴力防止プログラム(CVPPP)導入による変化ー

【研究機関】 東京女子医科大学病院 神経精神科

【研究責任者】 看護部 看護部長 坂本 倫美

【研究の目的】 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)導入が看護師と他職種の暴力対応や認識の変化が生じるのかについて明らかにし、今後の医療スタッフの教育への示唆を得ることを目的とする。

【研究の方法】

●対象者

神経精神科医師、南病棟 4 階・5 階・神経精神科外来の看護師、薬剤師、
社会保健福祉士、心理士、作業療法士

●利用する情報

1) アンケート実施期間：平成 27 年 5 月 25 日～平成 27 年 9 月 16 日

2) アンケートの活用内容：

性別、年齢、職種、経験年数、暴力被害の有無、暴力を受けた時の経験年数、
暴力時の対応、暴力後の心情、暴力後のサポート、暴力に対する不安、
暴力に対する自信、包括的暴力防止プログラム(CVPPP)の技術活用の有無、
暴力に関する知識確認のテスト

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、名前、住所など、本人を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も本人を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 神経精神科 看護師 田代 裕紀

電話：03-3353-8111 (33451～2)

平成 28 年 4 月 15 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 神経膠腫症 Gliomatosis cerebri の調査研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

【研究の目的】 神経膠腫症患者の病理診断・年齢・性別・治療内容・生存確認などを全国調査し、脳腫瘍の疫学・患者背景・生存率を明らかに、神経膠腫症の治療に役立てることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 13 年 1 月 1 日から平成 28 年 2 月末日までの間、神経膠腫症として国立がん研究センター内のデータベース（脳腫瘍全国統計データ）に登録されている患者。

●利用するカルテ情報

生年、性別、既往歴、診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期、再発の有無、生存確認

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科

担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8112(66003) FAX 03-5312-1844

平成 28 年 3 月 30 日

産科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心疾患合併妊娠における周産期予後についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院 産科

【研究責任者】 松井 英雄 産婦人科 教授

【研究の目的】

心疾患合併妊娠における周産期予後を調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

心疾患合併の患者さんで、2000 年 1 月から 2015 年 12 月の間に当院で周産期管理をされた妊婦

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、妊娠歴、産科合併症、胎児・新生児情報、血液検査結果、心臓超音波検査結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院産科

担当医師 金野 潤

電話 03-3353-8111

FAX 03-3686-0337

平成 28 年 3 月 30 日

産科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 羊水過多症例における周産期予後についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 産婦人科

〔研究責任者〕 松井 英雄 産婦人科 教授

〔研究の目的〕

羊水過多症例における周産期予後を調査するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当院で周産期管理をされた患者さんで、2008 年 1 月から 2015 年 12 月の間に羊水過多を認めた妊婦

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、妊娠歴、産科合併症、胎児・新生児情報、血液検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 産婦人科 担当医師 金野 潤

電話 03-3353-8111 FAX 03-3686-0337

平成 28 年 4 月 19 日

第一外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 維持透析患者に対する肺癌手術症例の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第一外科

[研究責任者] 神崎正人 東京女子医科大学 第一外科学（准教授 診療部長代行）

[研究の目的]

維持透析患者に対する肺癌手術の安全性、有効性を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2001 年 1 月から 2014 年 12 月までの間に当院で肺癌手術を施行した患者さん。

●利用するカルテ情報

- ①性別、年齢、身体所見
- ②最終病理組織診断
- ③画像所見(CT PET XP)
- ④既往歴(透析の有無、透析歴含む)
- ⑤術前の Performance Status
- ⑥手術時の年齢
- ⑦手術日(西暦 年 月 日): 例 2001/1/15
- ⑧手術アプローチ
- ⑨手術術式(2D 内視鏡 or 3D 内視鏡)
- ⑩手術中出血量
- ⑪手術時間
- ⑫輸血の有無
- ⑬血管浸潤、骨浸潤、神経浸潤の有無
- ⑭入院期間
- ⑮術後合併症
- ⑯術後合併症の内容
- ⑰血液検査所見 WBC Hb HT PLT AST ALT LDH Cr BUN CRP KL6 SPD SPA β D-グルカン 腫瘍マーカー(CEA CA15-3)
- ⑱術後経過(治療内容)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第一外科 担当医師 坂本 圭

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7333

平成 28 年 2 月 12 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 肺動脈疾患の診断・治療における画像診断の有用性の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

〔研究責任者〕 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学講座 教授・講座主任

〔研究の目的〕 肺塞栓症や肺高血圧症など肺動脈疾患において日常臨床で用いられている CT、MRI、核医学検査の治療効果判定や予後予測に有用であるかを検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

肺動脈疾患の精査中あるいは治療中で 2011 年 4 月 1 日から 2016 年 2 月 29 日の間に CT、MRI、核医学、超音波検査を受けた方

●利用するカルテ情報

CT、MRI、核医学、超音波検査画像

年齢、性別、診断、治療経過、既往歴、心電図検査、血液検査

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

担当医師 福島賢慈

電話 03-3353-8111（内線 39966）

FAX 03-5269-7284

平成 28 年 4 月 16 日

循環器内科、心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 冠動脈 CT の形態解析及び核医学との融合画像による新規診断法の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院画像診断・核医学科

【研究責任者】 坂井 修二 東京女子医科大学 画像診断・核医学講座 教授・講座主任

【研究の目的】 冠動脈 CT による形態評価、核医学的手法による血流情報など異なる検査画像をコンピュータ上で融合し、臨床情報のより詳細な情報提供及び診断への貢献が可能なかを検討する事です。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

冠動脈疾患の精査中あるいは治療中で 2012 年 4 月 1 日から 2016 年 1 月 21 日の間に冠動脈 CT および心臓核医学の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

冠動脈 CT 画像、核医学（シンチグラフィ・PET）画像

年齢、性別、診断、治療経過、既往歴、心電図検査、血液検査（脂質や血糖など）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院画像診断・核医学科 担当医師 福島賢慈

電話 03-3353-8111（内線 39966） FAX 03-5269-7284

平成 28 年 3 月 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] クロウン病術後吻合部潰瘍に関する後方視的多施設研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院第二外科

[研究責任者] 第二外科 教授・講座主任 岡本高宏

[研究の目的] クロウン病術後の吻合部観察症例を集積し、本邦における吻合部潰瘍の現状を把握することで、吻合部潰瘍が再発病変であるか否か、また治療介入が必要あるのか等、一定の見解を得ること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008 年 1 月～2013 年 12 月に当科においてクロウン病の確定診断がなされた患者さんで小腸部分切除、回結腸切除、結腸部分切除手術が施行され、再建時に吻合が施行された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、罹病期間・病型、治療薬、手術時年齢、手術適応、手術所見、内視鏡所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 産形麻美子

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 28 年 3 月 24 日

リウマチ科に通院中または過去に通院されたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 関節リウマチ患者における胸部 CT 所見と全身所見との比較

[研究機関] 東京女子医科大学附属八千代医療センター
リウマチ・膠原病内科、呼吸器内科

[研究責任者] 桂 秀樹 東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器内科 教授

[研究の目的] 関節リウマチ患者さんの胸部 CT 所見(肺病変および腋窩リンパ節腫大)と、
リウマチの症状や血液検査結果との関連性を検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

関節リウマチの患者さんで、平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に当院で
検査・治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、喫煙歴、関節所見、J-HAQ（身体機能障害指数）質問票、検査所
見[血液検査、胸部 CT および両肺野 HRCT]、治療薬の使用状況

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除し
ます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定で
きる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器内科

担当医師：桂 秀樹

電話 047-450-6000 FAX 047-458-6046

平成 28 年 3 月 24 日

呼吸器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 全国肺癌登録調査：2010 年肺癌手術症例に対する登録研究

[研究機関] 東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器外科

[研究責任者] 関根 康雄

(東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器外科 教授)

[研究の目的]

2010 年の本邦での原発性肺がん手術患者さんの詳細と手術治療成績を解析し、今後の治療成績の向上に役立てるため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

原発性肺がんの患者さんで、2010 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日の間に、肺がんに対する治療目的で規定の手術を行った方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、肺がんの手術の時期と内容、検査結果（血液検査、呼吸機能検査、がん細胞の組織診）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター 呼吸器外科 担当医師：黄 英哲

電話 047-450-6000（代表） FAX 047-458-7047

平成 28 年 4 月 1 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における下肢大切断率および再切断率の 23 年間の経時的変化

[研究機関] 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

[研究責任者] 東京女子医科大学 第三内科学 教授 内潟 安子

[研究の目的] 当センターで下肢切断を施行された糖尿病患者の 23 年間の下肢切断部位および再切断率の経時的変化を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当科フットケア外来に通院歴があり、糖尿病足病変から下肢切断に至った糖尿病患者さんで、平成 5 年 1 月 1 日から平成 27 年 11 月 30 日の間に下肢切断を施行した方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、生理学検査、手術記録)、糖尿病、末梢動脈疾患、下肢切断などの治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科 担当医師 井倉 和紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 3 月 29 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）

の

患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、保管された医療記録を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 術前合併症と術後経過の関係

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院

〔研究責任者〕 尾崎真 麻酔科学教室 教授

〔研究の目的〕

1) 研究の意義

近年のお薬の進歩によって全身麻酔の安全性はずいぶんと高くなっています。しかしながら、術前に合併症のある場合や、困難な手術を行う場合はやはり麻酔・手術の危険性があります。現在麻酔科では術前診察や問診・検査などを行うことにより、患者様の手術・麻酔の危険性を評価していますが、まだまだ十分な基準がない状況です。一方で、2010年に厚生労働省は“麻酔の困難な患者”の基準を示しました。しかしながら、その基準の正確性は未だによくわかっていません。

今回の研究で我々は、患者様の術前の合併症や状態と手術が終わったあとの経過について調べます。そうすることで、どのような患者様にはどのような手術をすると危険性が高いのか？またそれを避けるためにはどのような方法が良いのかをより正確に判断できるようになると考えています。

2) 研究の目的

今回の研究では術前の合併症や状態が、術中・術後の経過にどのように影響するかを調べます。今回の研究では主に術後在院日数と、病院死亡および術後合併症について術前の合併症との関連を調べるのが目的です。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学病院で全身麻酔を受けられた方のうち、東京女子医科大学病院において全身麻酔を受けられた方約 7000 名を研究対象とします。

●利用する検体およびカルテ情報

今回は患者様の試料は使用しません。

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あな

たの個人情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢，性別，家族歴，既往歴
- ・ 診察所見，術前の状態，手術内容（麻酔情報を含む），血液検査や生理検査データ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科 担当医師 尾崎眞

電話 03-3353-8111 (内線 39312 麻酔科)

平成 28 年 3 月 28 日

消化器外科・消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膵癌の早期診断確立のための実態調査(多施設共同研究)

【研究機関】 東京女子医科大学統合医科学研究所・消化器外科・消化器内科

【研究責任者】 古川徹・東京女子医科大学統合医科学研究所・教授

【研究の目的】

膵臓がんでステージ 0, I と診断された患者さんの医学的特徴を明らかにする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膵臓癌の患者さんで、平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、生年月日、診断時年齢、膵癌発症の疫学的危険因子、A. 受診動機（検診、症状の有無、他疾患スクリーニング中の発見）、受診時の画像診断、血液検査（アミラーゼ、CEA, CA19-9）、症状、B. 診断に用いた画像診断（US、CT、MRI、EUS、EUS-FNA、ERCP、FDG-PET）とその画像所見、C. 病理診断、病巣の範囲、大きさ、D. 予後

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8112 内線 25116

FAX 03-5269-7507

平成 28 年 3 月 24 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 歯性感染症におけるプロカルシトニン値測定の有用性の検証

【研究機関】 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

【研究責任者】 安藤智博 東京女子医科大学歯科口腔外科 教授

【研究の目的】

歯性感染症においてプロカルシトニン値測定の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

歯性感染症の患者さんで、平成 26 年 10 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に消炎治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、バイタルサイン（血圧、体温、呼吸数、意識レベル）、血液検査結果、画像診断結果、治療内容

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 島崎 士

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成28年3月24日

歯科口腔外科科に通院中（または過去に入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 抗血栓療法患者の抜歯後出血の新規リスクスコア開発

【研究機関】 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

【研究責任者】 安藤智博 東京女子医科大学 歯科口腔外科 教授

【研究の目的】

抜歯後出血を予測する新規リスクスコアの開発のため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

ワルファリン内服下に抜歯を行った患者さんで、平成25年4月1日から平成27年3月31日の間に入院した方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 福澤 智

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成 28 年 4 月 27 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

IgA 腎症に対するフィッシュオイルの治療効果の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科教授

[研究の目的]

IgA 腎症に対する治療法として、フィッシュオイルの成分である EPA の製剤エパデールと EPA と DHA の製剤ロトリガの治療効果を比較します。

*EPA: eicosapentaenoic acid, DHA: decosahexaenoic acid

[研究の方法]

●対象となる患者さん

IgA 腎症の患者さんのなかで 2014 年の間にエパデールからロトリガに内服変更された方

●利用するカルテ情報

変更時の年齢、性別、生年月日、血圧、採血・尿検査結果、治療、変更前後半年の血圧、脂質、腎機能、尿所見の推移

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 森山能仁

電話 03-3353-8111-36441 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 4 月 1 日

糖尿病・代謝内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 糖尿病足潰瘍患者の下肢切断および糖尿病足感染症による死亡に対する Toe-brachial index (TBI) の影響: Ankle-brachial index (ABI) との比較

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院糖尿病代謝内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 第三内科学 教授 内潟 安子

〔研究の目的〕 糖尿病足潰瘍患者を対象とし、下肢切断および糖尿病足感染症による死亡に対する TBI の影響を ABI と比較検討する

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当科フットケア外来へ足潰瘍を主訴に通院した糖尿病患者さんで、平成 20 年 1 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日の間に TBI、ABI 検査を受けた方

※ABI 検査（足関節上腕血圧比）は足首と上腕の血圧を測定し、その比率（足首収縮期血圧÷上腕収縮期血圧）を計算したものです。一般に腕の血圧に比べ、足の血圧は高い値を示します。ABI はほぼ正常は 1.00～1.29 の範囲を示しますが、これより低値の場合、足に向かう動脈の内径が狭くなっていることが疑われ、血管の狭窄や閉塞などが推定できます。TBI 検査（足趾上腕血圧比）は、足趾と上腕の血圧を測定し、その比率（足趾収縮期血圧÷上腕収縮期血圧）を計算したもので、ABI 検査よりは末梢の血液循環を調べる検査です。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理学検査、手術記録）、糖尿病、末梢動脈疾患、下肢切断などの治療経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病・代謝内科 担当医師 井倉 和紀

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 27 年 12 月 24 日

心臓血管外科/循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 巨大右房憩室に対する外科手術の症例報告

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 東京女子医科大学病院心臓血管外科 教授・講座主任 山崎 健二

[研究の目的]

右房憩室は非常に稀な先天性心疾患である。その症状や治療効果を明らかにすること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

右房憩室症の患者さんで、平成 16 年 1 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日の間に手術治療もしくは、心臓エコー検査を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、②性別、③診断名、④手術術式、⑤追跡期間、⑥生存の有無、⑦心電図、⑧胸部レントゲン検査、⑨心臓エコー検査、⑩CT 検査、⑪血液検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 坂本 貴彦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 3 月 18 日

第 1 版

尿細管性蛋白尿を呈する疾患 (Dent 病、Lowe 症候群、シスチン症、特発性
Fanconi 症候群、Imerslund-Gräsbeck 症候群、
Donnai-Barrow/facio-oculo-acoustico-renal 症候群) の
患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 尿細管性蛋白尿を呈する遺伝性疾患の全国調査

【研究機関】 東京女子医科大学病院腎臓小児科

【研究責任者】 服部元史 (腎臓小児科 教授)

【研究の目的】

尿細管性蛋白尿を呈する疾患 (Dent 病、Lowe 症候群、シスチン症、特発性 Fanconi 症候群、Imerslund-Gräsbeck 症候群、Donnai-Barrow/facio-oculo-acoustico-renal (DB/FOAR) 症候群) の患者数、症状、検査所見、長期経過を調べるため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

上記疾患の患者さんで、平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に全国の医療機関を受診された方

●利用するカルテ情報

生年月、性別、家族歴、遺伝子解析施行の有無と結果、発症年齢、診断年齢、発見理由、発症時身長・体重、診断時身長・体重、血液検査、尿検査、腎石灰化・尿路結石・腎嚢胞・くる病・白内障・精神発達遅滞など、各疾患に特徴的な合併症の有無、治療薬剤の有無、現在の身長・体重、透析導入／腎移植施行の有無と施行年月など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓小児科 担当医師 三浦健一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 3 月 25 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「腎盂尿管癌に対する腹腔鏡下腎尿管全摘除術+所属リンパ節郭清術と開腹腎尿管全摘除術+所属リンパ節郭清術における制癌性と周術期成績に関する後ろ向き比較研究」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 教授・講座主任 田邊 一成

〔研究の目的〕

腎盂尿管癌に対する開腹手術、腹腔鏡下手術の成績を比較し、とくにリンパ節郭清を行った症例が腹腔鏡下でも同等の成績が得られるかどうかを比較する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍に対して 2000 年 4 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に腎尿管全摘術を受けた方でリンパ節郭清を受けられた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）
- ②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理検査結果

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科

担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成28年2月25日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 大腸癌における予後予測因子としての好中球・リンパ球比の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 岡本 高広 東京女子医科大学 第二外科 講座主任

【研究の目的】

好中球／リンパ球比（Neutrophil/ lymphocyte ratio: NLR）は様々な癌種において予後との関連性が報告されており、特に NLR 値高値群では予後不良であることが示唆されている。

今回、好中球／リンパ球比（NLR）が大腸癌の予後予測因子となり得るか否かについて検討する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、2005年1月1日から2009年3月31日の間に大腸癌に対する手術を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・術前血液検査（好中球数・リンパ球数・CEA 値・CA19-9 値・CRP 値）・病期分類（TNM 分類）・肉眼型・病変占拠部位・病理検査（組織型・脈管侵襲・リンパ管侵襲・腫瘍最大径）再発の有無・再発までの期間・最終生存確認日

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科

担当医師 志鎌 杏子

電話 03-3353-8111(内線 39241)

FAX 03-5269-7334

平成 28 年 3 月 25 日

糖尿病センターに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 1 型糖尿病合併妊娠におけるインスリン必要量の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学糖尿病センター

〔研究責任者〕 内潟 安子 東京女子医科大学糖尿病センター （教授）

〔研究の目的〕

本研究では、1 型糖尿病合併妊婦さんでは妊娠期間中にいつ、どれだけインスリン量が増加するかを調査します。また、そのインスリン増加量にどのような因子が影響を与えているかを調査することにより、今後の 1 型糖尿病合併妊婦さんの妊娠中の管理や治療に役立てたいと思っています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2006年1月から2016年3月までの間に東京女子医科大学糖尿病センターに通院され、出産された1型糖尿病合併妊婦の方。

●利用するカルテ情報

- ① 分娩時年齢、糖尿病発症年齢、罹病期間
- ② 身長、妊娠前体重、妊娠前 BMI
- ③ 既往歴、出産・分娩歴、糖尿病等の家族歴
- ④ 妊娠前、妊娠中、出産後の HbA1c、グリコアルブミン、インスリン量、インスリン製剤の種類、体重
- ⑤ 合併症とその治療
- ⑥ 糖尿病合併症とその治療
- ⑦ 分娩様式、分娩週数
- ⑧ 児の性別、身長、体重、頭囲、胸囲、腹囲、奇形の有無、新生児合併症、Apgar score
- ⑨ 胎盤所見、胎盤重量
- ⑩ 母体の血算、生化学、抗 GAD 抗体、C-ペプチド、尿定性、尿中アルブミン、血糖自己測定
- ⑪ 児の血算、生化学、尿定性

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学糖尿病センター 担当医師 神原美沙

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 4 月 4 日

第 1 外科（呼吸器外科）に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 間質性肺炎合併肺癌に対する区域切除術の妥当性

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院第 1 外科（呼吸器外科）

〔研究責任者〕 神崎正人 東京女子医科大学 第 1 外科（呼吸器外科）

〔研究の目的〕

間質性肺炎合併肺癌症例に対する手術は、肺機能低下、急性増悪等の合併症が多く、大きな問題となっています。また、切除範囲の小さい手術（縮小手術）による肺癌手術の根治性も問題となっています。

間質性肺炎合併肺癌に対する区域切除術の有用性を検討します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

間質性肺炎合併肺癌の患者さんで、平成 13 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 30 日の間に手術（区域切除術）を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、性別、診断名
- ② 肺癌組織分類、病期、肺機能、検査結果、画像診断結果
- ③ 手術方法、手術記録、麻酔記録、手術時間、出血量、術後在院日数
- ④ カルテ上の医師記録、手術以外の治療方法、合併症、予後

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第1外科（呼吸器外科） 担当医師 小山邦広
電話 03-3353-8111 内) 36621 FAX 03-5269-7333

H28 12/15

東京女子医科大病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者様またはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を
まとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の
「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 心エコー図を用いた強皮症患者の無症候性心機能障害の評価

【研究機関】 東京女子医科大学病院 中央検査部

【研究責任者】 川島 眞 中央検査部運営部長

【研究の目的】 心エコー図を用いて強皮症患者における無症候性の心機能障害の評価をすること。

【研究の方法】

○対象となる患者様

強皮症または腎移植ドナーの患者様で、平成 27 年 1 月 5 日から 12 月 29 日の間に心エコー検査を
受けた方

*腎移植ドナー患者様は正常群として比較検討するために対象とさせていただきます。

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、心電図検査、心エコー検査、呼吸機能検査）

【個人情報のお取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、
研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しませ
ん。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 中央検査部 心臓超音波検査室 担当 波多野 由佳

電話 0-3353-8111 内線 29214

平成 28 年 3 月 1 日

脳神経外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 悪性脳腫瘍に対する光線力学的治療後に遮光環境に置かれた患者の療養状況の後ろ向き調査と看護の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院脳神経外科

【研究責任者】 村垣善浩 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 教授

【研究の目的】 悪性脳腫瘍に対する光線力学的治療後に遮光環境に置かれた患者への看護について検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

悪性脳腫瘍の確定診断がついた患者さんで、平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月末日の間に脳神経外科で光線力学的治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、治療内容と治療時期、経過記録

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院脳神経外科 担当医師 村垣善浩、丸山隆志、新田雅之

電話 03-3353-8111(26216) FAX 03-5269-7438

平成 28 年 5 月 10 日

精神科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究では、医療記録を使用して行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 修正電気けいれん療法時の循環変動に関する観察研究

【研究機関】 東京女子医科大学病院麻酔科

【研究責任者】 尾崎眞 麻酔科 教授

【研究の目的】

修正電気けいれん療法の治療の際の血圧や心拍数の変化を調査することで、今後の治療の安全性が向上すると考えられます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に精神科で修正電気けいれん療法の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、術前合併症、心電図、麻酔記録（血圧、心拍数、麻酔薬使用量）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科

担当医師 尾崎眞

電話 03-3353-8111

平成 28 年 5 月 10 日

当院で手術を受けられた患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、医療記録を用いておこなわれます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 麻酔の質的評価に関する基礎的研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院麻酔科

[研究責任者] 尾崎眞 麻酔科 教授

[研究の目的]

全身麻酔の過去の記録を総合的に参照することで適切な麻酔がなされていたかどうか、質的な評価をするための基準をつくるのが本研究の目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 26 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に麻酔科管理で全身麻酔を受けた患者

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、術前合併症、心電図、麻酔記録（血圧、心拍数、麻酔薬使用量、麻酔器の設定記録）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院麻酔科

担当医師 尾崎眞

電話 03-3353-8111

平成 28 年 4 月 1 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 植込型補助人工心臓装着後の合併症とリハビリテーションの役割
についての検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 循環器内科

〔研究責任者〕 萩原誠久 循環器内科 教授・講座主任

〔研究の目的〕

植込型補助人工心臓装着後、何らかの合併症がおこった場合、どのようにリハビリテーションを行うことがより有効なのかを検討することが目的です。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

心不全の患者さんで、平成 23 年 3 月から平成 27 年 6 月の間に補助人工心臓埋め込み術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、基礎心疾患、合併疾患、治療内容、経過
- ②身体所見
- ③血液検査結果
- ④心電図検査、ホルター心電図検査結果
- ⑤心エコー検査結果
- ⑥X線・CT検査結果
- ⑦心肺運動負荷試験結果
- ⑧リハビリ内容、身体的活動状況
- ⑨補助人工心臓設定条件

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 上野敦子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 5 月 10 日

糖尿病眼科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 慢性腎臓病を有した糖尿病患者における抗 VEGF 硝子体注射前後での腎機能の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院糖尿病眼科

【研究責任者】 糖尿病眼科 教授 北野 滋彦

【研究の目的】 抗 VEGF 硝子体注射が腎機能に影響を及ぼすか検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

当科かかりつけで、2012 年 1 月～2016 年 3 月の間に東京女子医科大学糖尿病センターにて抗 VEGF 硝子体注射を施行された患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、糖尿病病型、糖尿病歴、血糖コントロール、服薬状況、血圧、腎機能
糖尿病網膜症病期、抗 VEGF 硝子体注射の目的、抗 VEGF 硝子体注射の施行回数

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院糖尿病眼科 担当医師 亀田 裕介

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 4 月 3 日

脳神経外科に通院・入院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 虚血性脳血管障害に関する各種因子と予後に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科

【研究責任者】 川島明次 東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科 准教授

【研究の目的】 脳血管障害に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、平成 18 年 12 月 8 日から平成 28 年 3 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査、生理学的検査、リハビリ検査）、治療内容と治療時期

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科

担当医師 川島明次

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 28 年 4 月 11 日

第三内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 糖尿病患者における腎症の病態解明および生命予後に関するコホート研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院第三内科

[研究責任者] 内潟安子 第三内科学 教授

[研究の目的]

糖尿病患者さんにおける腎症の病態および生命予後に関与する因子を明らかにするため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 7 年 1 月 1 日から平成 28 年 4 月 11 日までの間に東京女子医科大学糖尿病センターに通院または入院したすべての患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、受診日、喫煙状況、飲酒状況、運動習慣、身体所見、診断名、病歴、家族歴、糖尿病合併症の有無および程度、治療内容、血液検査結果、尿検査結果、画像診断結果、生理学検査結果、病理学検査結果、感染症検査結果、質問紙調査結果、手術の記録、透析導入時期、心血管病発症時期、死亡日および死亡原因

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科 担当医師 花井 豪

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-1941

平成 28 年 5 月 10 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

腎移植施設における手術件数とレシピエントの予後との関連：コホート研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 泌尿器科 臨床教授 石田英樹

〔研究の目的〕

腎移植の実施件数が多い施設と少ない施設で腎移植レシピエントの予後に違いがあるかどうかを検討すること

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

慢性腎不全の患者さんで、平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に生体腎移植手術を受けられた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、腎不全の原因、血液検査、腎生検検査、合併症（拒絶反応、感染症、心血管疾患）の有無

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科

担当医師 平井敏仁

電話 03-3353-8111（内線 36441）

FAX 03-5269-7321

平成 28 年 3 月 28 日

消化器外科・消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 ボーダーライン膵癌に関する治療方針の実態調査ならびにボーダーライン膵癌の予後因子の解明 (多施設共同研究)

【研究機関】 東京女子医科大学 消化器外科

【研究責任者】 教授・講座主任 山本 雅一

【研究の目的】

各施設のボーダーライン膵癌に関する治療方針の現状を把握するため、アンケート調査による実態調査を行う。加えてボーダーライン膵癌における予後因子の解明のため、症例集積研究を行う。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2011 年～2013 年に当科において、ボーダーライン膵癌にて治療を受けられた方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、術前併存疾患、胆道ドレナージ、術前胆管炎有無、初診時 CT の所見（CA 浸潤、CHa 浸潤、術前治療の有無、治療法（放射線付加の有無）、術前治療完遂の有無、奏効率、CA19-9 値、SUVmax 値、術式、血管合併切除、他臓器合併切除、輸血有無、手術時間、出血量、病理組織結果、進行度、根治切除、組織学的効果判定基準、術後在院日数、膵液瘻発生、術後合併症、90 日死亡／在院死亡、再手術、術後治療の有無、治療法）、術後治療完遂の有無、全生存期間、無再発生存期間、初再発部位

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科 担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8112 内線 25116 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 3 月 30 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院
されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心臓移植後の心電図所見

[研究機関] 東京女子医科大学病院中央検査部

[研究責任者] 川島 眞、中央検査部 運営部長

[研究の目的] 心臓移植手術を受けた患者様の心電図検査結果や、長時間心電図を記録できるホルター心電図検査結果の変化を調べ、今後の治療に役立てるため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で平成 23 年 1 月以降に心臓移植手術を受け、平成 27 年 12 月までに心電図検査、ホルター心電図検査を行った方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、手術記録、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院中央検査部 担当技師 山田 辰一

電話 03-3353-8111 内線 23158

平成 28 年 5 月 16 日

東京女子医科大学病院に通院・入院されたことのある患者さんの

ご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ヒト剖検症例における(プロ)レニン受容体発現に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

[研究責任者] 市原 淳弘 東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科 教授・講座主任

[研究の目的]

近年、(プロ)レニン受容体という物質が、人間の生存に必要であることや、病気との関連の深いことがわかってきました。人間の臓器の中で(プロ)レニン受容体がどの臓器にどのような形で存在しているのかを観察し、健常な状態と病気になった状態とでの発現の仕方を検討し、その意義を解明していくことを目的としています。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

東京女子医科大学病院の患者さんで、ご遺族が病理解剖に承諾いただき、保管に同意された方

● 利用する検体およびカルテ情報

検体：全身の臓器(以前に研究用としての保管に同意いただいた分)

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科 担当医師 森本聡

電話 03-3353-8111(医局)内線 39223 FAX 03-5269-7327

2016年5月19日

フェブrik錠を内服している患者さんまたはご家族の方へ
ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腎機能を考慮したフェブキソスタットのPK-PDモデルの予測精度の検証

【研究機関】 東京女子医科大学病院薬剤部

【研究責任者】 木村 利美 薬剤部 部長

【研究の目的】

様々な腎機能の患者に対するフェブキソスタットの尿酸低下効果を予測する PK-PD モデルの予測精度の検証を行う。(※PK-PD モデルとは医薬品投与時の血中濃度ならびに薬効の経時的変化を数学的手法により予測するモデルを指す)

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2011年3月1日から2015年12月31日までに東京女子医科大学病院にてフェブキソスタットを新規に服用開始した患者。

●利用するカルテ情報

1. 患者背景：性別、年齢、身長、体重
2. 臨床検査値：腎機能(Cr、eGFR)、治療前後の尿酸値、AST、ALT、アルブミン、尿酸クリアランス
3. 使用薬剤：フェブキソスタット(用量)、利尿薬(種類、用量)、尿酸排泄促進薬(種類、用量)、ロサルタン(用量)、ミゾリビン(用量)

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院薬剤部 担当薬剤師 平井利典

電話 03-3353-8112 FAX 36031

平成 28 年 5 月 18 日

八千代医療センター腎臓内科に現在通院中、または過去に通院・入院された
ことのある患者さんまたはそのご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報、および臨床研究へのご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するご質問などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 慢性腎臓病患者における体液量に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学付属八千代医療センター腎臓内科

〔研究責任者〕 小池美菜子（腎臓内科 講師）

〔研究代表者〕 臼井亮介（腎臓内科 助教）

〔研究の背景・目的〕

慢性腎臓病患者さんは一定の過剰体液（むくみ）を抱えていますが、その量を定量化することは難しいとされています。腎不全により血液透析治療を要することになる患者さんにおいては、透析導入後に一定量の除水（透析でむくみを取り除きます）を行い、ドライ・ウェイトを設定することになりますが、透析導入期の最大体重からドライ・ウェイトまでの体重差を透析導入期の体液過剰量として扱うことで過剰体液量の定量化を試みることができます。

過剰体液を抱えてしまう原因として腎臓病以外には心臓病が挙げられます。腎臓病によりむくんでしまう理由と、心臓病によりむくんでしまう理由は異なりますが、腎臓病患者さんでは心臓病も合併している患者さんも少なくなく、「一人の患者さんが抱えている過剰体液量のうち何リットルが腎臓病由来、何リットルが心臓病由来」と分けて考えることができません。また、血液透析では腎臓病による過剰体液は取り除くことができますが、心臓病による過剰体液は取り除くことが難しいとされています。

透析導入直後の体液管理では、一般的には患者さんの状態を見ながら除水を進めていくことになりますが、この方法では多くの患者さんでかなりの過剰体液量が解消されないまま維持透析期に移行してしまいます。体液過剰は長期的には心臓に負担をかけてしまうため、一定の管理をしていく必要がありますが、透析導入期に解消されなかった体液過剰が維持透析期にもなかなか解消されず長期にわたり保持してしまう維持透析患者さんも少なくありません。そこで、私たちの施設では、「過剰体液量の維持透析期への持ち越しを減らすこと」を第一の目的に、透析導入前に過剰体液量の推定を行い、除水計画を立ててから透析治療を進めています。しかし、この除水計画に基づいた透析治療を進めていくと、どうしても十分な除水ができない患者さんがいます。その患者さんの中には、心臓機能が悪

い患者さんや、心臓機能は問題なくとも心臓疾患（冠動脈狭窄症や弁膜症）がある患者さんが含まれています。

このように、我々の施設では、「透析導入期に抱えていた過剰体液量の維持透析期への持ち越しを減らすこと」を第一の目的として透析導入前に過剰体液量推定と除水計画を立てていますが、この方法によって、透析導入前に予め把握できなかった低心機能や自覚症状の無い潜在的な心疾患などを見つけるきっかけとなる可能性があるのではないかと考えています。なお、このような視点に基づいた研究は過去に行われたことはありません。

そこで、まず、①透析導入期の過剰体液量を定量化し、同時にその際の臨床症状や検査所見を収集・解析することで、逆に透析導入期の臨床症状や検査所見から過剰体液量の予測を試みます。次いで、②それによって決定された過剰体液量と除水計画が心臓疾患のスクリーニングに有用かどうか（透析導入期に行われた心臓超音波検査や心臓カテーテル検査の結果との関連性）を明らかにするための臨床研究を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院腎臓内科にて外来加療・入院加療を行った慢性腎臓病の患者さんのうち、平成21年2月1日から平成28年3月31日の間に透析導入となった方。

●利用するカルテ情報

腎臓病の疾患名、腎臓病以外の合併症名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液・尿検査、胸部レントゲン写真を含む画像検査、心電図・超音波検査・InBody®を含む生理学検査）、服薬内容を含む治療内容・治療歴。

* 基本的に通常診療で得られた情報のみを利用します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学付属八千代医療センター腎臓内科

担当医師 臼井亮介

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7040

平成 28 年 3 月 30 日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 転移性腎癌に対する 2 次分子標的薬治療後の予後予測因子として、2 次治療開始時の腫瘍量は有用か。

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 東京女子医科大学腎臓病センター泌尿器科 教授・講座主任 田邊一成

【研究の目的】

転移性腎癌に対する治療として分子標的薬投与は標準的な治療法である。治療開始後の予後予測因子として、治療時の腫瘍量が有用であるとの報告がある。この腫瘍量とは CT や MRI 検査などの画像検査の所見に基づいて定義され、原発巣（つまり腎臓摘出をされていない場合はもともとの腎臓癌の腫瘍量）と転移巣の腫瘍量を評価対象とする。1 次分子標的薬治療（初めに使用した分子標的薬治療）が無効となった場合、2 次分子標的薬治療（1 つ目の分子標的薬とは異なる 2 つ目の分子標的薬治療）が検討される。2 次分子標的薬治療開始後の予後予測因子として、2 次治療開始時の腫瘍量が有用であるかどうかは定かではない。そのため、今回我々は、転移性腎癌に対する 2 次分子標的薬治療開始後において、2 次治療開始時の腫瘍量が予後予測因子として有用であるかどうかを調査する。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

転移性腎癌の患者さんで、2008 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日の間に 2 次分子標的薬治療をうけた方

●利用するカルテ情報

2 次分子標的薬治療開始時の年齢、性別、腎癌の組織型、MSKCC risk（転移性腎癌の予後予測に用いられる）、腎摘手術の有無、転移臓器の数、腫瘍量（原発巣、転移巣ともに含む）、2 次治療開始後の全生存期間（治療開始後から死亡するまでの期間）、無増悪期間（治療開始後から腫瘍増悪までの期間）、2 次治療開始後の最大腫瘍縮小率など。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 石原弘喜 電話 080-1965-4208 FAX
03-5269-7321

平成 28 年 4 月 1 日

東京女子医科大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、本学病理診断科に保管されている検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 Fukutin の癌組織における発現と機能に関する免疫組織化学的検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病理学第一講座

〔研究責任者〕 東京女子医科大学病理学第一講座・教授・講座主任 柴田 亮行

〔研究の目的〕

Fukutin が、癌組織の分化、増殖、転移に関わっているかどうかを解析する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

口腔癌、皮膚癌、子宮癌、乳癌、胃癌、大腸癌、肺癌の患者さんで、平成 23 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学病院において、癌を手術的に切除された方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：病理組織検体

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（発生部位、腫瘍径、進達度）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学第一病理学教室 担当医師 柴田 亮行

TEL 03-3353-8111; FAX 03-5269-7408

平成 28 年 5 月 19 日

心臓血管外科に手術予定で入院中の（または過去に通院・入院されたことのある）維持透析を受けている患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 維持透析患者の心臓手術後における血漿再充填速度の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院東医療センター血液浄化部

【研究責任者】 中澤速和 東京女子医科大学病院東医療センター泌尿器科 臨床教授

【研究の目的】

維持透析患者の心臓手術後において、血漿再充填速度が術前のレベルに戻るまで、術後どれ位の期間を要するかを検討し術後の除水量を決定するための指標とする。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

維持透析の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に心臓弁膜症の手術を受けた方

●利用するカルテ情報

例：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学東医療センター泌尿器科

担当医師 中澤速和

電話 03-3810-1111 FAX 03-3810-1161

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録および手術時に診断のために作成された病理標本プレパラートをあらたに診断し直して、検討することによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「透析患者に発生する腎癌の新しい病理分類と臨床的背景および予後への影響についての後方視的多施設研究」

【研究機関】 東京女子医科大学病院泌尿器科

【研究責任者】 教授・講座主任 田邊 一成

【研究の目的】

透析腎癌を新しい病理組織分類によりあらためて診断し直し、予後や臨床的パラメーターとの相関性を検討する事

【研究の方法】

●対象となる患者さん

透析に伴って発生した腎腫瘍に対して 1970 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までに手術をうけられた患者さん

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、身体所見、理学所見、血液検査結果、画像診断結果（CT、MRI、シンチグラフィ）

②手術所見、手術成績（手術時間、出血量、合併症、退院日）、病理報告書

●利用する過去の検体

手術時に診断のために作成された病理標本プレパラート

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 近藤 恒徳

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成28年5月24日

法医学講座で法医解剖（司法解剖、警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律に基づく解剖）を受けた方のご遺族の方へ

-医学系研究に関する情報および医学系研究に対するご協力をお願い-

法医学講座では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、通常の法医解剖で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 法医解剖例における交通事故後に死亡した患者の損傷の解析

[研究機関] 東京女子医科大学医学部法医学講座

[研究責任者] 木林和彦 東京女子医科大学医学部法医学講座 教授・講座主任

[研究の目的]

交通事故の様態と死亡者の損傷の部位と重症度の関係を解析し、どのような交通事故で人体のどこの部位にどの程度の損傷が生じるのかを明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる方

平成20年2月1日から平成28年3月31日の間に法医解剖を受けた方のうち、交通事故後に死亡した方

●利用する患者情報と解剖検査記録情報

性別、年齢、身長、体重、生前の健康状態（既往歴・現病歴）、受傷状況、受傷後の臨床経過、解剖結果（剖検所見、組織検査所見、血液生化学検査結果、中毒検査結果、死因、死因の種類）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、解剖を受けた方を直接特定できる個人情報等を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も解剖を受けた方を特定できる個人情報等は利用しません。

*上記の研究に患者情報と解剖検査記録情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学医学部法医学講座

担当医師 木林和彦

電話 03-5269-7300 FAX 03-5269-7300

E-mail: legalmed@research.twmu.ac.jp

平成 28 年 3 月 8 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膵癌に対する Gemcitabine(GEM) plus nab-paclitaxel(nab-PTX)の治療成績についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器外科

【研究責任者】 山本雅一、消化器外科、教授

【研究の目的】

【目的】膵癌は消化器癌において依然として予後不良な癌の一つであり、手術に化学療法などを加えた集学的治療が長期生存には必要と考えられています。近年、本邦に於いて新規抗癌剤である Gemcitabine(GEM) plus nab-paclitaxel(nab-PTX)が使用可能となったため、その治療成績について検討し、膵癌の予後向上に寄与することを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 1 月から 2016 年 4 月までに膵癌の患者さんで当院に於いて Gemcitabine(GEM) plus nab-paclitaxel(nab-PTX)を使用した患者さんを対象とする。

●利用するカルテ情報

膵癌の stage、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、病理所見、前治療の有無、後治療の有無、予後

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 出雲渉

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 5 月 20 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] MEN1 を有する膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の治療成績についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一、消化器外科、教授

[研究の目的]

MEN1(Multiple Endocrine Neoplasia Type 1)を有する膵・消化管神経内分泌腫瘍は多発性で肝転移の頻度が高いと報告されています。MEN1 を有する膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の治療成績(外科切除の有無,薬物治療の有無,Grade(悪性度),転移,再発,予後)について後方視的に検討し,予後不良因子や再発抑制因子を明らかにし,従来の治療法と比較し予後向上に寄与することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

膵・十二指腸神経内分泌腫瘍、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、再発、予後

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 出雲渉

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 5 月 20 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 膵神経内分泌腫瘍の治療成績についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院消化器外科

【研究責任者】 山本雅一、消化器外科、教授

【研究の目的】

【目的】膵神経内分泌腫瘍は本邦においてその発生頻度が増加傾向にあるにもかかわらず、その病態や予後について依然として明らかになっていません。

膵神経内分泌腫瘍の治療成績(外科切除の有無、薬物療法の有無、Grade(悪性度)、転移、再発、予後など)について後方視的に検討し、再発・転移に関する因子、予後に関わる因子を検討し、膵神経内分泌腫瘍の患者様の予後向上に寄与することを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膵神経内分泌腫瘍の患者さんで、平成 12 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に膵神経内分泌腫瘍の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

膵神経内分泌腫瘍、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、術式、病理結果、再発、後治療の有無・内容、予後

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 出雲渉

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 27 年 9 月 18 日

東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科および新生児科に
通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院にて妊娠 26 週以前に出生した児の産科的背景と予後についての後方視的検討

【研究機関】 東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

【研究責任者】 東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

教授 高木 耕一郎

【研究の目的】

当院での周産期医療の現状を知るため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2007 年 1 月から 2015 年 12 月に当院産婦人科で出生し、当院 NICU を退院されたお子さん
およびそのお母さん

●利用するカルテ情報

分娩週数、分娩方法、分娩となった背景、出生体重、NICU での合併症の有無、1 歳および 3 歳時の発達障害の有無 など

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学 東医療センター 産婦人科

担当医師 上野 麻理子

電話 03-3810-1111 FAX 03-3800-4786

平成 28 年 5 月 24 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 潰瘍性大腸炎関連癌における早期内視鏡像の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 消化器内科

〔研究責任者〕 徳重克年 消化器内科 教授

〔研究の目的〕

潰瘍性大腸炎関連癌の早期発見・治療に向けて、診断前の早期下部消化管内視鏡像の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

潰瘍性大腸炎の患者さんで、平成 15 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日の間に東京女子医科大学消化器内科に通院または入院され、かつ東京女子医科大学での外科的切除により潰瘍性大腸炎関連癌と診断された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、既往歴、家族歴、罹病期間、臨床症状、身体所見、治療内容、検査結果（血液検査）、画像診断結果（下部消化管内視鏡検査）、手術記録、病理組織結果、外来・入院経過

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科 担当医師 米沢麻利亜

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 5 月 25 日

東京女子医科大学神経内科及び日赤医療センター神経内科に通院中（または
過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

物忘れを主訴に来院した症例の認知機能や臨床症状に影響を与える要因の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院神経内科

[研究責任者] 北川 一夫 東京女子医科大学 神経内科 教授・講座主任

[研究の目的]

物忘れを主訴に来院した症例の臨床症状を調査するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

物忘れを主訴に来院したアルツハイマー型認知症をはじめとする患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に認知機能検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、治療内容、既往歴、家族歴、身体所見、認知機能検査、画像検査、血液検査

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 北川 一夫

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7324

平成 28 年 4 月 1 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 重症心不全に対する手術後患者の遠隔予後に関する研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院心臓血管外科

[研究責任者] 心臓血管外科 教授・講座主任 山崎健二

[研究の目的]

心不全に対する外科的手術後患者の遠隔予後を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 1 年 1 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間に、心不全に対する外科手術を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査などの検体検査、画像検査、超音波検査、心電図検査、精神状態検査、心臓カテーテル検査など）、診療経過などカルテに記載されている情報とします（他院から診療情報提供された情報も含みます）。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院心臓血管外科 担当医師 西中 知博

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 5 月 26 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施いたします。この研究は、食道癌手術を見直し、通常術後測定する項目を再評価いたします。新たに保存された検体などは使用いたしません。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 食道癌手術時における換気法別手術侵襲の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 山本雅一 消化器外科 教授

[研究の目的]

食道癌手術時における術後肺機能合併症を軽減すること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

食道癌の患者さんで、平成 19 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日の間に手術をうけられた方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術時に測定した検査結果を使用しますので新たに使用することはありません。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査、病理検査、生化学検査値）、

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 成宮孝祐

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 5 月 30 日

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 開心術後に嚥下障害を合併した症例の経過について

[研究機関] 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

[研究責任者] 猪飼 哲夫 東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

[研究の目的]

心臓血管外科での開心術後に嚥下障害を合併し、嚥下訓練を行った方の経過を調査する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心臓血管外科で開心術を受けた患者さんで、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に嚥下訓練を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①性別 ②年齢 ③手術内容 ④手術時間 ⑤出血量 ⑥挿管期間 ⑦季節の有無
- ⑧ICU 入室期間⑨在院日数 ⑩脳血管疾患の合併・既往 ⑪緊急手術の有無
- ⑫術後肺炎合併の有無 ⑬画像診断結果（VF/VE） ⑭術後反回神経麻痺の有無
- ⑮病前嚥下障害の有無 ⑯抜管後から嚥下訓練介入までの期間 ⑰訓練期間
- ⑱退院時嚥下機能障害の有無 ⑲リハ介入前後での藤島の摂食・嚥下のグレードの変化
- ⑳最終食事形態

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科

担当医師 冬賀清香

電話 03-5269-7639 FAX 03-5269-7639

平成 28 年 5 月 31 日

神経内科、循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 直接経口抗凝固薬の薬物血中濃度と血液凝固検査の関連に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院神経内科、神経内科

〔研究責任者〕 東京女子医科大学 医学部 神経内科学 教授・講座主任 北川一夫

〔研究の目的〕

直接経口抗凝固薬（ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン）の効果を評価する方法は確立されていないため、血液凝固に関連した検査と薬物血中濃度の関連を検討することにより、効き目を確認するのに適する検査方法を明らかにすることを目的としています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

直接経口抗凝固薬を服薬中の心房細動の患者さんで、平成 25 年 7 月 16 日から平成 28 年 2 月 16 日の間に「経口トロンビン阻害薬と経口第 Xa 因子阻害薬のモニタリングに関する検討」の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、嗜好（飲酒歴）、疾患名（現疾患と既往疾患）、手術名、治療内容、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科 担当医師 北川一夫、山崎昌子

電話 03-3353-8111 (内線 39232) FAX 03-5269-7324

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 志賀剛

電話 03-3353-8111 (内線 23110)

平成 28 年 5 月 11 日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 局所進行膵癌に対するS-1併用放射線治療の効果と有害事象の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院放射線腫瘍科

【研究責任者】 唐澤 久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍学教室 （教授）

【研究の目的】 局所進行膵癌に対するS-1併用放射線治療の効果と有害事象の検討し、今後の治療方針の指針とする

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2010 年 3 月から 2013 年 12 月までの間に東京女子医科大学放射線腫瘍科で局所進行膵癌に対して S-1 併用の放射線治療を施行した方。

●利用するカルテ情報

年齢、診断名、病理組織、血液検査、治療内容、再発の有無、無病期間、観察期間、生存の有無、画像検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院放射線腫瘍科 担当医師 橋本弥一郎

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7355

平成 28 年 5 月 10 日

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 「腎移植患者と透析患者に発生する自己腎癌の特徴の比較」

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 教授 田邊 一成

〔研究の目的〕

末期腎不全患者に発生する腎癌の原因検索

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

腎腫瘍の患者さんで、1990 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に根治的腎摘除術を受けた透析患者ないし腎移植患者

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、腫瘍径、臨床病期、病理結果、症状の有無、腫瘍個数、身長、体重、後天性腎嚢胞の有無
- ②全生存率、癌特異的生存率

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 高木 敏男

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293

平成 28 年 5 月 1 日

循環器内科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 循環器疾患患者を対象としたジゴキシン療法の長期治療成績に関する調査

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 循環器内科 教授 萩原 誠久

[研究の目的]

ジゴキシンの処方された患者さんの、その後の経過と臨床背景およびジゴキシン血中濃度についての検討をおこない、その治療成績についての評価を行う事を目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2016 年 4 月 30 日までに東京女子医科大学病院循環器内科に通院または入院した患者さんのうち、ジゴキシン（ジゴキシン錠、ジゴシン散 0.1%、ジゴシンエリキシル、ジゴシン注およびハーフジゴキシン KY 錠 0.125）が処方もしくは使用された方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、身長、体重、基礎心疾患、既往歴（高血圧、糖尿病、冠動脈疾患、心不全、血栓塞栓症、心房細動の有無）、デバイスの有無（植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、心臓再同期療法）、手術歴、透析歴、甲状腺機能亢進症の有無、薬の使用状況、心臓超音波検査、心プールシンチグラフィ、左室造影検査、6 分間歩行検査、12 誘導心電図所見、血圧、脈拍数、

血液検査（血清クレアチニン、クレアチニンクリアランス、推算糸球体濾過量、BNP、血清カリウム、蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、ジゴキシン血中濃度、抗不整脈薬血中濃度）、入院日、入院の詳細、最終観察日（外来受診日、入院確認日、退院日）、死亡日、死亡理由

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 担当 長沼 美代子

電話 03-5269-7493 FAX 03-5269-6745

平成 26 年 6 月 4 日

八千代医療センターにて MRI 検査を受けたことのある
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] MRI を用いた拡散強調画像による非侵襲的細胞定量画像を使用した肝臓病態の評価

[研究機関] 東京女子医科大学八千代医療センター 消化器内科・画像検査室

[研究責任者] 東京女子医科大学八千代医療センター 消化器内科 科長 西野隆義

[研究の目的]

MRI 画像を使用し、非侵襲的に定量値として組織の細胞変異の情報を得ること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肝臓 MRI 検査を受けたの患者さんで、2015 年 4 月から 2016 年 6 月までの間に MRI の検査を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果、画像診断結果、画像データ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

千葉県八千代大和田新田 477-96

東京女子医科大学八千代医療センター画像検査室

担当 吉丸 大輔

電話 047-450-6000

平成 28 年 6 月 2 日

循環器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 慢性心不全に対する β 遮断薬の有用性に関する後ろ向き研究

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器内科

[研究責任者] 萩原 誠久 東京女子医科大学 循環器内科 教授・講座主任

[研究の目的]

現在、慢性心不全に対して β 遮断薬の内服は一般的な治療法です。しかし、 β 遮断薬にはいくつか種類があり、それぞれの生命予後を比較した報告は多くはありません。この研究では β 遮断薬の種類別に予後を比較し、日本人に対する適切な β 遮断薬の種類と使用法を検討する事を目的としました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院通院中の慢性心不全の患者さんで、平成 15 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に β 遮断薬の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、エコー所見）、内服歴、生命予後および入院歴

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器内科 担当医師 鈴木敦

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 5 月 31 日

東京女子医科大学東医療センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 大腸腫瘍に対する ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術：Endoscopic Submucosal Dissection）の安全性と有用性に関する研究

〔研究機関〕 東京女子医科大学東医療センター 検査科

〔研究責任者〕 加藤博之 東京女子医科大学東医療センター 検査科 教授

〔研究の目的〕

大腸 ESD の安全性と有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

東京女子医科大学東医療センターで、平成 17 年 1 月から平成 28 年 4 月までの間に大腸内視鏡による治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、内視鏡結果、画像検査、病理検査）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター 検査科

担当医師 加藤博之

電話 03-3810-1111 (内線 3072)

平成 28 年 5 月 9 日

歯科口腔外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] デンタルインプラント治療の適応と予後に関する後方視的検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院歯科口腔外科

[研究責任者] 安藤智博（歯科口腔外科 教授）

[研究の目的]

デンタルインプラントのリスク因子を検討するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 19 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日の間にデンタルインプラントの治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、治療部位、画像診断結果（パノラマ X 線写真、CT）、血液検査結果（血算、生化、凝固系）、全身的合併症の状態、常用薬、デンタルインプラントの種類（メーカー名、サイズ）、手術内容（術式、出血量、使用材料、麻酔記録）、補綴物の種類、デンタルインプラントの予後

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院歯科口腔外科 担当医師 島崎 士

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-2367

平成 28 年 6 月 2 日

消化器外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 食道癌胃管再建後長期経過例の残食道円柱上皮化生と誤嚥性肺炎の関連

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 山本雅一 消化器外科 教授

〔研究の目的〕

術後逆流性残食道炎関連の QOL を改善する至適術式の検討

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

食道癌の患者さんで、2004 年 1 月から 2010 年 12 月の間で、食道切除胃管再建術を施行後、当院外来にて術後内視鏡検査を 5 年間長期経過観察された方

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査、病理検査）、手術記録

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科

担当医師 工藤健司

電話 03-3353-8111

FAX 03-5269-7507

平成 28 年 6 月 1 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性前部ぶどう膜炎に合併する脊椎関節炎についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

[研究の目的]

急性前部ぶどう膜炎における脊椎関節炎の臨床像を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

急性前部ぶどう膜炎に脊椎関節炎を合併した患者さんで、昭和 60 年 1 月 1 日から平成 28 年 4 月 30 日の間に膠原病リウマチ痛風センター、または東京女子医科大学八千代医療センターリウマチ・膠原病内科の治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 市川奈緒美

電話 03-5269-1711

平成 28 年 6 月 1 日

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのあ）
の患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、カルテ情報を用いる。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）患者の経皮的バルーン拡張術（BPA）治療前後の呼吸機能の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院リハビリテーション科

〔研究責任者〕 猪飼 哲夫、東京女子医科大学リハビリテーション科、教授

〔研究の目的〕

慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者の BPA 治療前後の呼吸機能変化を検討し、今後のリハビリテーションサービス提供の向上を目的とする。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

当院循環器内科を受診しCTEPHの診断でBPAを受けたCTEPH患者さんで当院リハビリテーション部に依頼のあった2012年5月から2015年12月までの15名。（男性3名；女性12名）。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、右心カテーテル検査、心肺運動負荷試験、精密肺機能検査、6分間歩行試験、呼吸筋力測定、レスピトレース法による chest wall 機能を K-M ダイアグラムでの解析結果、血液ガスデータおよび酸素飽和度測定結果。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院リハビリテーション科 担当医師 猪飼 哲夫

電話 03-3353-8111（内 20131） FAX 03-5269-7639

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 腸管型バーチェット病手術症例の臨床学的特徴の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科 講座主任

【研究の目的】 腸管型バーチェット病に対する手術症例の臨床学的特徴を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

バーチェット病の患者さんで、1992 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に腸管病変に対する手術を受けた方

●利用するカルテ情報

①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、嗜好歴（飲酒、喫煙）

②疾患情報：発症時年齢、病型、手術時年齢、手術適応、手術名、術式、吻合方法、手術時間、出血量、術後合併症、術後在院日数、術前治療内容、術後治療内容、併存疾患

③画像検査所見：CT 検査・内視鏡検査

④病理検査所見

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 板橋 道朗 ・ 中尾 紗由美

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

循環器内科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究は大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）のデータベースへ臨床研究登録されます。
<http://www.umin.ac.jp/> (UMIN 試験 ID: UMIN000019479)にて閲覧可能です。

【対象となる方】

東京女子医科大学病院倫理審査委員会承認日～2017年5月31日の間に急性心筋梗塞症で入院された方

【研究課題名】日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR 前向き研究)

【主任研究者】安田 聡 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 部門長

【当院における研究責任者】萩原 誠久 東京女子医科大学病院 循環器内科教授・講座主任

【研究の目的】急性心筋梗塞診療の現状を把握し今後の診療の改善に役立てるため

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、身長、体重、血液検査、画像検査、心電図検査、内服薬、冠動脈治療の有無／方法、予後

【研究期間】東京女子医科大学病院倫理審査委員会承認後 ～ 2019年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【その他】

本研究は第一三共株式会社より提供された資金により実施されます。当該会社は、本研究実施、データ管理、統計解析、結果公表など研究運営には一切関与しません。

【お問合せ先】

東京女子医科大学病院 循環器内科

電話：03-3353-8111（大代表）

平成 28 年 6 月 6 日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめること、アンケート調査によって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脾・胆管合流異常術後の長期経過に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院消化器外科

[研究責任者] 消化器外科 講座主任 山本雅一

[研究の目的] 脾・胆管合流異常術後の長期経過に関する検討

[研究の方法]

●対象となる患者さん

脾・胆管合流異常症に対し、東京女子医科大学 消化器外科にて昭和42年12月1日から平成27年12月31日の間に治療を受けた方

●利用するカルテ情報

血液生化学検査、尿検査、年齢、性別、診断名、治療内容、身体所見、検査結果、画像診断結果、診療録、手術記録、退院日、術後在院日数、術後合併症、病理所見、生存期間、死因、入院歴、入院回数、入院時期、癌発生率、癌発生時期、肝内結石発生率、肝内結石発生時期、肝膿瘍発生率、肝膿瘍発生時期、胆管炎発生率、胆管炎発生時期

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 内線 25116

平成 28 年 6 月 6 日

消化器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 胆管癌切除例における胆管断端 high grade dysplasia/carcinoma in situ の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 消化器外科 講座主任 山本雅一

〔研究の目的〕 胆管癌手術における胆管断端の high grade dysplasia/carcinoma in situ の意義の検討を行う。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

胆管癌に対し、東京女子医科大学 消化器外科にて2000年1月1日から2015年12月31日までの間に外科治療を受けた方々

●利用するカルテ情報

背景データ（年齢、性別、術前黄疸、胆道ドレナージ、手術日、退院日、切除有無、腫瘍マーカー（CEA、CA19-9）、身長、体重、BMI）、手術所見（術式、門脈切除再建、肝動脈切再建、肝動脈切除非再建、出血量、輸血量、手術時間、病理（最大腫瘍径、組織型、郭清リンパ節（個）、転移リンパ節（個）、Lymph node ratio、癌遺残度、JSBS6th TNM 分類）、術後合併症（合併症詳細（Clavien -Dindo classification）

術後データ（退院日、術後在院日数、再発、転帰、最終転帰確認日、生存期間）

術後補助療法（Type of adjuvant chemotherapy、施行コース数、投薬量、副作用による補助療法中止）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 消化器外科

担当医師 樋口亮太

電話 03-3353-8111 内線 25116

平成 28 年 4 月 18 日

消化器内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 C 型慢性肝炎に対する直接作用型抗ウイルス薬の治療安全性の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器内科

〔研究責任者〕 徳重 克年 東京女子医科大学 消化器内科 教授

〔研究の目的〕 C 型慢性肝炎に対する直接作用型抗ウイルス薬（DAA）による治療は副作用が少なく治療可能となったが、頻度は少ないながらも死亡例の報告もあり、重篤な副作用が懸念される。本研究は DAA の安全性について検討することを目的とした。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2014 年 9 月～2016 年 4 月の期間に当院でダクルインザ・スンベプラまたはソフォスビル・レディパスビルまたはソフォスビル・リバビリンまたはオムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤による治療を行った C 型慢性肝炎の方

●利用するカルテ情報

* 診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、既往歴、検査結果（血液検査、胸部レントゲン、心電図検査）。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器内科

担当医師 児玉和久

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 4 月 18 日

第二外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 クロウン病の累積手術率の時代的変遷についての検討（多施設共同後向き観察研究）

【研究機関】 東京女子医科大学病院第二外科

【研究責任者】 岡本 高宏 東京女子医科大学 第二外科 教授・講座主任

【研究の目的】

若年発症が特徴であるクローン病では長期経過に伴い手術を要する例が多く、術式として小腸部分切除術や狭窄形成術などが行われますが、術後も再手術を要することが多く、内科的治療も併せて長期的な治療が必要な疾患です。本邦でのクローン病に対する手術成績を明らかにすべく、厚生労働省難治性疾患克服研究、難治性炎症性腸管障害に関する調査研究のプロジェクトとして多施設共同研究によりアンケート調査を行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

クローン病の患者さんで、1960 年 1 月 1 日からクローン病の手術治療を受けた方

●利用するカルテ情報

①性別、②生年月日、③発症日、④診断日、⑤病型（最終診断：小腸型・小腸大腸型・大腸型・その他、初回手術時診断：穿孔型・非穿孔型・その他）、⑥腸管病変に対する手術日（複数回全て記入）、⑦手術後の免疫調整剤の使用の有無（無/アザチオプリン/6-メルカプトプリン/その他）、⑧手術後の栄養療法（800kcal/日以上）の有無、⑨手術後のInfliximab使用の有無、⑩生死、⑪判定日、⑫死亡日、⑬死亡の場合：死亡年月日、死亡原因（クローン病関連死/それ以外）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第二外科 担当医師 小川真平

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7334

平成 28 年 6 月 13 日

膠原病リウマチ痛風センターに通院中（または過去に通院・入院されたこと
のある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 乾癬性関節炎および強直性脊椎炎における脊椎病変の臨床的検討

[研究機関] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 山中 寿 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

[研究の目的]

乾癬性関節炎および強直性脊椎炎の適切な診断・治療のため、脊椎病変について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

乾癬性関節炎および強直性脊椎炎の患者さんで、昭和 60 年 1 月 1 日から平成 28 年 4 月 30 日の間に膠原病リウマチ痛風センターの治療（検査）を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査）、
治療内容、合併症

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター

担当医師 市川奈緒美

電話 03-5269-1711

平成 28 年 5 月 6 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 膠原病患者保存血清における可溶性PD-1値についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学リウマチ科、附属膠原病リウマチ痛風センター

[研究責任者] 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・所長・山中寿

[研究の目的] 膠原病患者さんの血清中の可溶性PD-1という物質を測定することで、膠原病の病態を明らかにして、治療法の向上に役立てることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膠原病の患者さんで、平成 16 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日の間に膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、罹病期間、疾患名、手術名、診察所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、病理検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 5 月 6 日

東京女子医科大学リウマチ科・附属膠原病リウマチ痛風センターに通院中
(または過去に通院・入院されたことのある) の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 自己免疫関連血球貪食症候群患者保存血清における可溶性CD163値についての検討

【研究機関】 東京女子医科大学リウマチ科、附属膠原病リウマチ痛風センター

【研究責任者】 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター・所長・山中寿

【研究の目的】 膠原病患者さんの血清中の可溶性 CD163 という物質を測定することで、自己免疫関連血球貪食症候群（註）の病態を明らかにして、治療法の向上に役立てることを目的とします。

（註）本来人間をまもるべきマクロファージや好中球といった免疫細胞が暴走し、自らの血球を食べてしまう病態

【研究の方法】

●対象となる患者さん

膠原病の患者さんで、平成 16 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日の間に膠原病の研究用の血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、罹病期間、疾患名、手術名、診察所見、治療内容、検査結果（血液検査、尿検査、画像検査、心電図検査、病理検査）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 10-22

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 担当医師 勝又 康弘

電話 03-5269-1711 FAX 03-5269-1726

平成 28 年 6 月 3 日

脳神経外科に通院・入院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 出血性脳血管障害に関する各種因子と予後に関する検討

【研究機関】 東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科

【研究責任者】 川島明次 東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科 准教授

【研究の目的】 脳血管障害に関する各種因子（年齢、種類、治療効果など）と予後（再発の有無など）がどのように関連しているかを調査するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、平成 12 年 1 月から平成 28 年 3 月末日の間に脳神経外科で診察を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、診断時期、手術所見、年齢、性別、身体所見、予後、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査、生理学的検査、リハビリ検査）、治療内容と治療時期

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

千葉県八千代市大和田新田 477-96

東京女子医科大学附属八千代医療センター脳神経外科

担当医師 川島明次

電話 047-450-6000 FAX 047-458-7047

平成 28 年 4 月 25 日

心臓血管外科で手術を受けられ、リハビリテーションを施行された**患者さんまたはご家族の方へ****-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]維持血液透析患者における心大血管術後の退院時リハビリテーション到達度に影響する因子および退院後の活動量や予後についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院 リハビリテーション科

[研究責任者] 猪飼哲夫 東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

[研究の目的] 退院時のリハビリテーション到達度と関係する因子を明らかにする。

[研究の方法]**●対象となる患者さん**

心大血管疾患の患者さんで、平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日の間に手術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 患者背景因子（年齢、性別、診断名、身長、体重、冠危険因子、合併症）
- ② 検査結果（血液検査）
- ③ 画像診断結果（心臓超音波、CT）
- ④ 日常生活活動情報
- ⑤ 手術情報（手術日、手術時間、人工心肺使用時間、出血量、輸血量）
- ⑥ 投薬内容
- ⑦ 術後経過（ICU 入室期間、リハビリテーション進行経過、入院期間）
- ⑧ 術後合併症
- ⑨ 退院後活動量、予後

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 上野敦子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 4 月 20 日

心臓血管外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

－臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 心大血管術後せん妄が ADL 拡大の進行度に与える影響に関する検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院 リハビリテーション部

〔研究責任者〕 猪飼哲夫 リハビリテーション科 教授

〔研究の目的〕

心大血管術後に発生しやすいせん妄を合併した方が、その後のリハビリテーション介入によって日常生活動作が改善するか否かに関して、影響する要因について明らかにすること。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2015 年 8 月から 11 月までの間に当院心臓血管外科にて心大血管手術をされたあとリハビリテーションを行った方。

●利用する検体およびカルテ情報

- ①せん妄（せん妄の有無と日数）
- ②手術前の状態（年齢、合併症の有無、心臓の機能、栄養状態）
- ③手術の状況
- ④術後の状態（血液検査結果、不整脈の有無、投薬の内容）
- ⑤経過（ICU にいる期間、入院期間、退院後の状況）
- ⑥リハビリテーション経過（リハビリ開始、離床開始、歩行開始、最終歩行距離）

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体およびカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 循環器内科 担当医師 上野敦子

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0441

平成 28 年 5 月 18 日

東医療センター内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院におけるボノプラザンによる *Helicobacter pylori* 除菌治療の現状

【研究機関】 東京女子医科大学病院 東居医療センター内科

【研究責任者】 佐倉 宏 東京女子医科大学 東医療センター内科 教授

【研究の目的】

ボノプラザンによる *Helicobacter pylori* 除菌治療の除菌率と有害事象を検討するため。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 2 月から 2016 年 1 月まで当院にてボノプラザンによる *H. pylori* 除菌治療を施行した患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、除菌成功率、検査結果、診断名、有害事象

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 東医療センター内科

担当医師 細田麻奈

電話 03-3810-1111 FAX 03-5855-6258

平成 28 年 6 月 6 日

循環器小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 先天性心血管疾患に対する Amplatzer Vascular Plug の使用についての検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院循環器小児科

[研究責任者] 朴 仁三 循環器小児科 准教授

[研究の目的]

先天性心血管疾患患者に対する Amplatzer Vascular Plug の使用についての検討を行い、使用状況、治療効果、安全性等を調査する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2009 年 1 月から 2015 年 12 月までに、当院通院中の先天性心血管疾患の患者さんで、カテーテル治療で Amplatzer Vascular Plug の使用したかた。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断、SpO₂、CTR、カテーテル検査結果、合併症の有無など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院循環器小児科 担当医師 清水 武

電話 03- 3353-8111 FAX 03- 3356-0441

平成 28 年 6 月 9 日

救命医療科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 持続的血液濾過膜の膜寿命評価およびナファモスタットメシル酸塩プライミングが膜寿命へおよぼす影響について

[研究機関] 東京女子医科大学病院東医療センター救急医療科

[研究責任者] 東京女子医科大学東医療センター脳神経外科教授 救命救急センター長代行
糟谷英俊

[研究の目的]

持続的血液浄化療法における、膜の交換時間について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2015 年 10 月 31 日の期間において東京女子医科大学東医療センター救命救急センターまたは集中治療室にて持続的血液浄化療法を実施した患者。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）、バイタルサイン、血液浄化記録。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都荒川区西尾久 2-1-10

東京女子医科大学病院東医療センター 脳神経外科 救命救急センター長代行
担当医師 糟谷英俊

電話 03-3810-1111

平成 28 年 5 月 7 日

消化器外科科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 PET 検査からみた大腸癌肝転移症例の検討

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院消化器外科

〔研究責任者〕 山本 雅一 東京女子医科大学 消化器外科 教授

〔研究の目的〕

大腸癌肝転移症例に対する肝切除施行の指摘時期を明らかにする為の PET 検査の有用性を検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

大腸癌肝転移の患者さんで、2005 年 6 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に PET 検査を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①肝術前 PET 検査における SUVmax 値
- ②再発形式と再発時期
- ③年齢
- ④性別
- ⑤大腸癌進行度
- ⑥肝転移個数と大きさ
- ⑦無再発生存期間
- ⑧累積生存期間

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院消化器外科 担当医師 小寺由人

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7507

平成 28 年 7 月 1 日

神経内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 「認知症初期診断における神経心理学的・画像診断的研究」

【研究機関】 東京女子医科大学病院神経内科

【研究責任者】 北川 一夫 東京女子医科大学 神経内科 教授・講座主任

【研究の目的】

認知症、軽度認知障害の初期診断に関する、神経心理検査と画像検査（脳血流 SPECT 検査と頭部 MRI 検査）の有用性を検討するため

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2003 年 5 月から 2016 年 6 月までの間に東京女子医科大学神経内科（当科）に「もの忘れ」の訴えで受診した患者さんで、神経心理検査と画像検査（脳血流 SPECT 検査と頭部 MRI 検査）を受けた方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、利き手、教育歴、治療内容、既往歴、併存疾患、診断名、病歴、罹病期間、家族歴、生活状況、要支援/要介護度、介護施設利用状況、運動頻度、身体所見、神経学的所見、血液検査、画像検査、生理機能検査、神経心理検査

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院神経内科

担当医師 吉澤 浩志

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7324

平成28年6月1日

泌尿器科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 単腎の腎部分切除術における術後腎機能低下と蛋白尿の関係

〔研究機関〕 東京女子医科大学病院泌尿器科

〔研究責任者〕 石田英樹 泌尿器科 教授

〔研究の目的〕

単腎患者において蛋白尿が腎部分切除後の腎機能低下に与える影響について検討するため

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

1985年4月から2016年3月までの間に東京女子医科大学泌尿器科で単腎に対して施行した腎部分切除術症例が対象。

●利用するカルテ情報

①年齢②性別③手術所見(術式、出血量など)④病理所見(組織型、病期など)⑤CT画像所見
⑥採血データ(血算、生化学、凝固系など)⑦臨床経過(臨床症状、追加治療の有無)

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院泌尿器科 担当医師 橘秀和

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293